

公表内容

12月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、輸送機械工業、食料品工業などが上昇したことから、2か月ぶりのプラスとなった。

○概況

生産、出荷、在庫はすべて上昇で推移

◆12月の主な数値の動向（調査産業計）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		指数	前年同月比(%)	
生産	117.6	4.5	2か月ぶり+	115.7	2.7	2か月ぶり+
出荷	125.2	7.4	3か月ぶり+	122.3	2.3	2か月ぶり+
在庫	93.6	0.9	2か月ぶり+	90.4	▲ 2.6	16か月連続-
在庫率	83.3	▲ 3.3		82.5	▲ 2.3	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりプラス、原指数で、2か月ぶりのプラスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、3か月ぶりプラス、原指数で、2か月ぶりのプラスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのプラス、原指数で、16か月連続のマイナスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

<生産> 上昇：輸送機械工業（10.5%）、食料品工業（4.3%）

<出荷> 上昇：輸送機械工業（10.3%）、化学工業（18.7%）

<在庫> 上昇：食料品工業（11.3%）、輸送機械工業（36.5%）

○前月比が最も大きかった業種

<生産> 上昇：繊維工業（18.2%）／低下：家具製品工業（▲ 6.4%）

<出荷> 上昇：生産用機械工業（20.8%）／低下：家具製品工業（▲ 11.9%）

<在庫> 上昇：輸送機械工業（36.5%）／低下：電子部品・デバイス工業（▲ 42.1%）